

事案名	北九州市の事案（福岡県40-7）
分類	発見・被災・掃海等処理
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・「旧軍ガス弾等の全国調査結果報告（案）」〔1〕 ・化学室担当者ノート「戦後における旧軍毒ガス弾等の処理の状況(14.6)」〔2〕
資料内容概要	<p>福岡県北九州地区では、「旧軍ガス弾等の全国調査結果報告（案）」および防衛庁資料によれば、昭和30年から昭和49年の間に旧軍毒ガス弾等の発見事案が14件確認されている。</p> <p>発見・被災・掃海等処理情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和30年6月に、現北九州市でイペリット弾17発が発見され、自衛隊がコンクリート密封し海中投棄したと記載されている〔1〕〔2〕。 ・昭和38年10月1日に、北九州市でイペリット弾2発が発見され、自衛隊がコンクリート密封し海中投棄したと記載されている〔1〕〔2〕。 ・昭和38年11月25日に、北九州市でくしゃみ性ガス（弾）1発が発見され、自衛隊がコンクリート密封し海中投棄したと記載されている〔1〕〔2〕。 ・発見日不明（昭和40年から41年の間）ではあるが、北九州市でイペリット（弾）1発が発見され、自衛隊がコンクリート密封し海中投棄したと記載されている〔1〕〔2〕。 ・発見日不明（昭和40年から41年の間）ではあるが、北九州市でイペリット（弾）1発が発見され、自衛隊がコンクリート密封し海中投棄したと記載されている〔1〕〔2〕。 ・発見日不明（昭和43年から44年の間）ではあるが、北九州市でイペリット（弾）1発が発見され、自衛隊がコンクリート密封し海中投棄したと記載されている〔1〕〔2〕。 ・昭和44年7月4日に、北九州市の埋立地でイペリット（弾）2発が発見され、自衛隊がコンクリート密封し海中投棄したと記載されている〔1〕〔2〕。 ・昭和45年6月19日に、九州市でイペリット（弾）1発が発見され、自衛隊がコンクリート密封し海中投棄したと記載されている〔1〕〔2〕。 ・昭和46年9月11日に、北九州市でイペリット（弾）1発が発見され、自衛隊がコンクリート密封し海中投棄したと記載されている〔1〕〔2〕。 ・昭和47年5月4日に、北九州市でイペリット（弾）1発が発見され、自衛隊がコンクリート密封し海中投棄したと記載されている〔1〕〔2〕。

	<p>・昭和49年5月31日に、北九州市で10cm砲弾（旧軍きい剤）1発が発見され、自衛隊がコンクリート密封し海中投棄したと記載されている〔2〕。</p>
--	---